

川崎市都市景観条例 事前協議

【受付番号】 事前 22 - 10

計画概要				
協議者の法人名	株式会社ENEOS NUC			
設計者の事務所名	日揮株式会社			
行為地の地名地番	川崎区 浮島町260番1、260番2、8番1号			
景観ゾーン	臨海部ゾーン	景観の帯	—	
景観計画特定地区	—	都市景観形成地区	—	
行為の種類別	建築物の増築	敷地面積	174,338.93 m <sup>2</sup>	
主要用途	工場	高さ	45.00 m	

完成予想図



東・北側立面



西・北側立面

事前協議結果

	市からの主な助言	協議者からの主な見解
1	<p><b>「夜間景観について」</b></p> <p>川崎市では、工場夜景等の産業景観が注目を集めています。今回、高速川崎縦貫線(首都高速川崎線)から見える場所の建築計画であるため、周辺地域の夜間景観を意識し、夜のライトアップ等を御検討ください。</p>	<p>工場内の通路や装置の作業範囲を社内基準による照度で照らすように配置された照明が、工業地域の「工場夜景」を形成していると考えております。今回の建屋(装置)に関しましても、社内基準どおりに照明を配置し、工場夜景の一部となるようにいたします。</p>
2	<p><b>「長期的な緑化計画について」</b></p> <p>長期的に緑を増やしていく計画の中で、面的な緑と線的な緑がネットワーク状に繋がるよう、敷地内の緑の形成について御検討ください。また、前面道路や多摩川対岸からの視線に配慮し、少しでも多くの緑を計画し、緑のボリュームが感じられる景観となるよう、御検討ください。</p>	<p>前面道路、多摩川対岸からより多くの緑を感じていただけるような植栽を長期計画にて進めるようにいたします。</p>
3	<p><b>「建築物の色彩について」</b></p> <p>貴社の色彩管理基準で定められている外壁の色彩N9. 5は、最も明るい白色であり、汚れが目立ちやすい傾向があります。比較的汚れを受けにくいN8. 5等の色彩を推奨します。</p> <p>外壁を白色、鉄骨架台を青色、建具を赤さび色で計画されていますが、同一建築物の色彩の組み合わせとしては馴染みにくい印象を受けます。建具の色彩は、たとえばダークグレー(N4等)や濃紺(5PB3/2、5PB3/4等)といった誘目性を下げる色彩を推奨します。</p>	<p>外壁については敷地内の他の建物と調和を図るため、社内基準の白色(N9. 5)を採用いたします。</p> <p>建具(扉)については、推奨いただきました濃紺(5PB3/2等)に変更いたします。</p>

※計画概要及び完成予想図は事前協議申出書の提出時点の情報となります。

※完成予想図の著作権はそれぞれ原作者が有しています。著作権法に特段の定めがある場合を除き、無断複製・転用等を禁じます。